

登壇者プロフィール

井上 透 (いのうえ・とおる)

岐阜女子大学 デジタルアーカイブ研究所 所長・教授、特定非営利活動法人デジタル・アーキビスト資格認定機構事務局長。国立科学博物館参与、日本科学技術振興機構 GBIF 技術検討委員、国立諫早青少年自然の家所長を経て現職。専門は教育情報学、メディア論、博物館情報管理、デジタルアーカイブ、シソーラス。著書：『デジタルアーカイブ要覧』（共著、教育評論社、2007年）、『デジタルアーキビスト入門』（共著、日本アーカイブ協会、2014年）、『地域文化とデジタルアーカイブ』（共著、樹村房、2017年）等。

柴山 和香子 (しばやま・わかこ)

千葉県 船橋市教育委員会 船橋市西図書館館長補佐。平成3年に船橋市役所入所後、社会教育課、市立小・中学校、文化課を経て、平成23年度から図書館勤務。西→中央→西図書館を異動しながら最初の4年間は郷土資料室担当。資料のデジタル化は、ある日の「どうする？」→「やる」から始まった。職場の仲間とともに、日々、船橋市図書館サービスの在り方を模索中。

武田 剛朗 (たけだ・たかあき)

千葉県大網白里市教育委員会生涯学習課 主任主事。平成20年に大網白里市に入庁し、教育委員会生涯学習課で生涯学習・社会教育を担当。産業振興課商工観光振興室では観光振興や夏まつり業務を担当。平成27年度からは教育委員会生涯学習課に再び着任。現在は文化振興・文化財保護全般を担当している。「大網白里市デジタル博物館公開事業」においては、文化資源にスポットを当て、文化振興から地域振興に発展するように心掛けている。